

北海道電力(株) 総合研究所 デジタル化推進グループ ブロックチェーン技術を用いた 新たなプラットフォームの研究

あらゆるものがデータ化され、ネットワークを通じて自由にやりとり可能となった今、デジタル化技術の活用により様々なことが実現できるようになっています。デジタル化推進グループでは、ブロックチェーン技術^{※1}やIoT技術などの先端技術を用いた新たなプラットフォーム^{※2}のあり方についての研究に取り組んでいます。

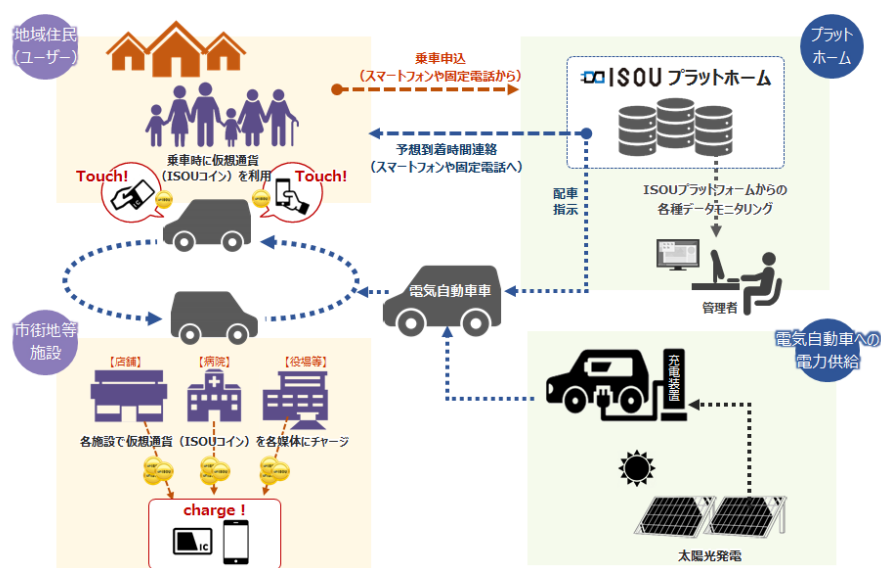
※1 取引記録の管理方法の一種で、全ての取引記録を参加者全員で共有し、常に同期を取り改ざんを防ぐことで信頼性を担保する技術
また、独自の仮想通貨を発行し、利用することが可能な技術

※2 情報やサービス・商品の提供者と利用者をつなぐ環境

取組み事例① 《地域特性に合わせた次世代交通 (ISOU) プラットフォーム》

少子高齢化・地域過疎化による交通インフラの衰退と、移送要員の人件費や燃料費高騰による地域経済の衰退という課題に対し、次世代交通 (ISOU) プラットフォームの構築に向けて取り組んでいます。

ISOU プラットフォームでは、地域住民が必要なタイミングで、再生可能エネルギーである太陽光を用いて充電した電気自動車に乗車できます。乗車に際しては、ブロックチェーン技術の特長を用いて発行する地域独自の仮想通貨を使用します。仮想通貨は、地域の各施設を訪問することでチャージができ、エコ社会の実現とともに、地域活性化に寄与することを目指しています。



取組み事例② 《EV車の普及を見据えたEVスタンドプラットフォーム》

EV車は、環境に優しいことに加え、災害時の非常用電源としての重要性も注目されており、今後の普及拡大が見込まれています。将来的には、その充電設備 (EVスタンド) が重要な社会インフラとなることを見据え、より円滑にEVスタンドが普及するよう、EVスタンドプラットフォームの構築に向けて取り組んでいます。

これにより、企業・自治体・個人の垣根を越え、誰もが容易にEVスタンドを設置でき、誰もが便利にEVスタンドを利用できるサービスの実現を目指しています。

